

北海道150年展

～ふるさとをたどる～

2018年は、北海道が命名されて150年、その名付け親と言われる探検家・松浦武四郎の生誕200年という記念の年です。ふるさと北海道と本別町のあゆみをたどり、人々が作り出した歴史を感じてみませんか。

◆期間限定公開資料◆ **いずれも松浦武四郎によるものです**

10月2日(火)～12日(金)「北海道国郡検討図」拡大レプリカ

巨大な古地図の上に乗って、昔の北海道を見下ろしたり、細かな地名などを調べたりできます。ぜひ体験してください。

1月22日(火)～2月28日(木)「蝦夷土産道中寿五六」拡大版

函館からスタートし、北海道を一周するユニークな寿五六(すごろく)。明治初期の道内各地の様子がよく分かります。

◆開催期間◆

**2018年10月2日(火)から
2019年2月28日(木)まで**

◆開館時間◆ **午前9時～午後4時**

(土曜日は午後3時まで)

◆休館日◆ **日・月曜日、祝祭日、年末年始**

◆入館料◆ **無料**

●展示内容● 松浦武四郎の生涯とできごと(年表、解説パネル)、本別町のあゆみ(年表、写真、開拓者関連資料)、北海道の暮らし(実物資料)

※協力 十勝毎日新聞社、十勝エコロジーパーク

●関連事業● 期間中、「ほんべつ学第3回・秋冬のまなび～開拓のお話～」を予定

本別町歴史民俗資料館

本別町北2丁目(図書館西隣)

TEL/FAX 0156-22-5112

◆プレゼントのおしらせ◆
来館された方に「蝦夷土産道中寿五六」(写真上)の特製クリアファイルを差し上げます。数に限りがありますので、お早めにお越しください。



松浦武四郎 (1818-1888)

蝦夷土産道中寿五六



北海道国郡検討図